

■ 総会が終わりました

ずいぶん遅い総会で申し訳ありませんでした。無事、総会が終了しました。

「紅花まつり」やその他のイベントも重なり、わずか10数名の出席でしたが活発に意見も出て、予定の議案は無事終了。

その後は東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科を卒業した角田美里さんを講師としての講演会。25歳の角田さんは、ほとんどの会員にとっては孫娘のよう。けれども、しっかりした話し方で、「東北の木造和船」について講演して下さいました。会員からは川船と海の舟の違いや太平洋岸の木造和船の現状についてなどの質問も出され、それぞれにてきばきと答えていただきました。

講演会後の懇親会にも参加していただき、最後は名刺の交換なども。参加者にとっては有意義な一時でした。以上報告です。

期日 平成26年7月12日(土)

時間 午後1時30分から

内容 総会

講演会

講師 角田美里 先生
木造和船研究者

(東北芸術工科大学歴史遺産学科卒)

演題 東北の木造和船(仮題)

懇親会

会費 2,000円

総会の内容については会則の一部変更がありました。

【改正前会則 改正部分のみ】

第五条 本会は、本会の趣旨に賛同するものを以て組織する。

第八条 役員は任期は二年とする。但し、重任を妨げない。

第十二条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入を持って充てる。会費は、総会で決める。会費を二年以上滞納したものは、会員の資格を失うものとする。

第十三条 本会の会計年度は、四月一日より三月三十一日までとする。

附則

本会の会則は、昭和五十九年四月一日より施行する。

【改正会則】

第五条 本会は、本会の趣旨に賛同するものを会員として組織する。

2 会員は正会員、賛助会員及び名誉会員とする。

3 長年正会員であったものは本人の申し出により賛助会員となることができる。賛助会員は役員会で承認するものとする。

4 特に本会に功績のあった会員については名誉会員とすることができる。名誉会員は役員会で推薦し、総会で承認を得るものとする。

5 正会員は会費を納入するものとするが、賛助会員及び名誉会員からは会費を徴収しない。

第八条 役員は任期は二年とする。但し、再任を妨げない。

第十二条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入を以て充てる。会費は、総会で決める。会費を二年以上滞納したものは、会員の資格を失うものとする。

附則

本会の会則は、昭和五十九年四月一日より施行する。

平成二十六年七月十二日一部改正



角田美里さんの講演について

角田さんは1989年に山形県川西町生まれ、米沢東高校から東北芸術工科大学に進学しました。卒業研究で青森、秋田、山形県の伝統的木造和船の記録研究をおこない、その成果は東北芸術工科大学のブックレット『東北一万年のフィールドワーク 木造和船 東北篇』としてまとめられています。海で使われる木造和船の研究としてはまとまった研究として極めて貴重な研究だと思いました。

たいそう若い方ですが、もうほとんど使われなくなった木造和船との出会い、そして、そのどんなところに魅力を感じたのかなども含めてお話を伺えて充実した内容でした。

■ 「白鷹町 我が家のお宝展」から

8月2日（土）から8月24日（日）まであゆむで「白鷹町 我が家のお宝展」が開催されました。

鮎貝八幡宮の御神輿や青苧の着物など様々なお宝が展示されました。

その中で、とりわけ不思議だったのが二点。

一点目は「秋田征伐記」と題された絵図（常安寺蔵）。展示会のスタッフ江口さん、丸川さん、館長さんが征伐記の一節に悩んでいました。原文は漢文ですが、その七行目の末に「独り米沢兵（のみ）閑道従り黒森嶮（に）向ふ。矣七月廿七日」とあるのです。「矣」という字は普通は文末にあって、「断定」あるいは「疑問」などを表す字です。それが文のはじめにあるというのはどういうことなのか。一応は句点（。）の打ち間違えと考えていますがどうでしょう。

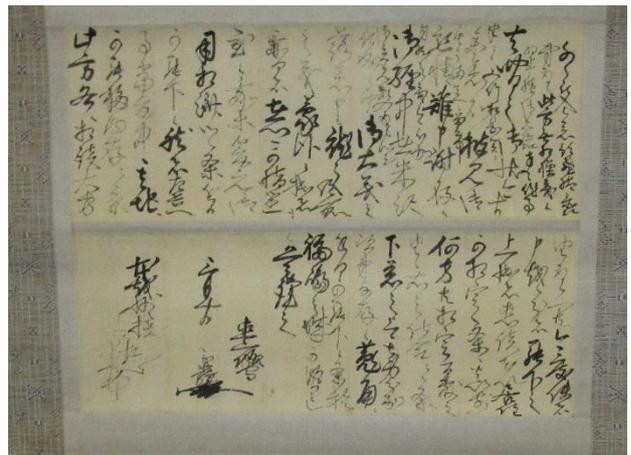


内容としては戊辰戦争の時、奥州列藩同盟に消極的な秋田藩が、白河で仙台藩が敗れたという知らせを聞いたとたん、金山に攻め入ったのを米沢藩兵が迎撃したというようなことのようにです。昨年大河ドラマ「八重の桜」の世界で

すね。

明治2年に上村節山という人が書いた文章です。どうか解説してください。

二点目は直江兼続が本庄繁長に宛てた手紙（常安寺蔵）。これは私にはとても読めないのですが、末尾に「三月十日」と記載されています。兼続はどうも京都にいて、福島にいる繁長に手紙を出したようなのです。その三月十日は何年のことなのか。いろいろ推定するに慶長3年か慶長6年かと考えられます。慶長6年だとすると、関ヶ原の戦いの翌年で、上杉が会津から米沢に転封された時ということになります。そうだとすると、兼続の上洛の目的は、石田方に付いたことについて様々に申し開きをするためということになります。どうなのか、これも面白いことです。



文責 守谷

■ お知らせなど

そろそろ研修旅行の時期となりました。一応天童方面という腹案はあるのですが、具体的なことは何も決まっていません。

役員会を開催してはつきりさせたいと考えています。みなさんの御意見をお待ちいたしております。

次に、明和の江戸大火の時に、材木を運んだ道の調査に会津に行こうと思っています。

これもまったく具体的な話しではないのですが、興味を持たれた方は御連絡ください。

090-8255-7773 守谷英一です。

ということではつきりしないことばかりで申し訳ありませんが、少しでも何か調査や研修をしましょうということでお知らせいたします。

このような何かしようという計画や予定などがありましたら事務局守谷へお知らせいただければ幸いです。